



<http://www.hcr.or.jp>

Int. Home Care & Rehabilitation

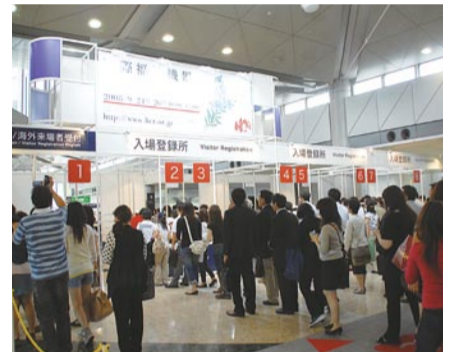
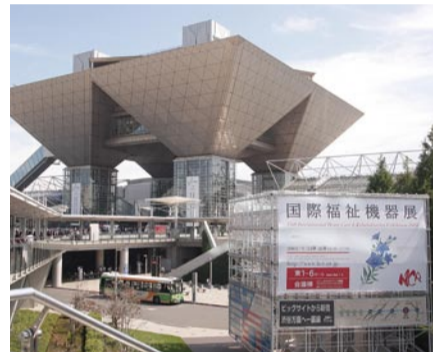
CONTENTS

ごあいさつ	1
第35回国際福祉機器展 H.C.R. 2008 報告	2
ふくしのスキルアップ講座	4
ワークショップ・セミナー、 先端技術と福祉機器	5
来場者アンケート	6

国内出展社アンケート、 海外出展社アンケート	7
広報、PR 活動、車いす貸出コーナー、 シャトルバス	8

編集・発行：財団法人 保健福祉広報協会
Publisher: Health and Welfare Information Association
住所：〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル
TEL. 03-3580-3052 FAX. 03-5512-9798
定価 1部 200円 (消費税・送料込)

人々が安心できる 社会づくりを H.C.R. 2009 に向けて



2008年は、救急搬送で明らかになった医療制度の機能低下、経済の激変で社会の関心が集まった雇用問題を始めとして、人々の生活の安心が問われた年でした。

人々の暮らしにおいて安心を下支えするのは、社会保障制度を中心としたセーフティネットの役割です。わが国ではかつて公的社会保障制度とともに、家族・世帯がセーフティ機能を担ってきました。

しかし、少子高齢化の進展、単身世帯の増加、経済のグローバル化、地方分権・規制緩和などさまざまな社会構造の変化が進むに連れて、現在のわが国のセーフティネットでは対応できない事態が増え続けています。

家族・世帯が持つセーフティネット機能が著しく低下するなか、それを補い国民の安心と安全を支えるためには、公的社会保障制度の充実と皆が参加し助け合う地域社会づくりが求められています。

なかでも少子高齢化は、長期的な取り組みを必要とする課題です。人口減少社会の本格的な到来を前にして、わが国では、先進国共通課題である子育て環境の改善とともに、世界に例のないスピードで進む高齢化による介護の課題に対し、量と質

の両面から改善をはかっていく必要があります。

わが国では2009年4月から介護報酬の3%引き上げ、介護保険対象機器6品目の追加、改正消防法の施行による施設の消防設備の設置義務の拡大など、高齢者や障害者の日常生活の安心と介護支援につながる施策改善が実施される予定となりました。

私たち社会福祉関係者は人材の確保を始め多くの課題を抱えています。激変する社会のなかでセーフティネットの担い手として、人々の福祉・介護ニーズに沿ったサービスを提供していかなければなりません。そのためには人材確保に加えてスタッフ一人ひとりのスキルアップと福祉機器の効果的な活用も重要です。

H.C.R. 2009では、世界の福祉機器の情報提供をもとに、開発・普及の促進に引き続き努めるとともに、福祉機器の適切な選び方や安全な使い方など利用者・家族にとって有益な情報提供をおこないます。また、福祉・介護施設や在宅サービスの役職員のスキルアップを図るため介護・保健福祉分野の課題をテーマとしたセミナーの開催など、各種催事を総合的に企画・開催してまいります。

2009年、私たち保健福祉広報協会では、全国社会福祉協議会とともにH.C.R. 2009の開催を中心に国民生活の安心と安全のため幅広い福祉機器分野の発展に努めてまいります。

今後とも皆様のご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

財団法人 保健福祉広報協会

次回開催

第36回

国際福祉機器展H.C.R. 2009 36th Int. Home Care & Rehabilitation Exhibition 2009

H.C.R. 2008には出展企業・団体をはじめ関係者の皆様に、多大なるご協力を賜り深く感謝申し上げます。

次回のH.C.R. 2009は、平成21年9月29日(火)～10月1日(木)に、東京ビッグサイトで開催いたします。

本会では、今後とも福祉機器の開発と普及の促進に努めてまいりますので、引き続き、関係各位のご協力、ご参加をよろしくお願い申し上げます。

会期

2009年 9月29日(火)～10月1日(木)

会場

東京ビッグサイト東展示ホール

出展募集

2009年 2月2日(月)～3月31日(火)

